

【資料提供】

月日（曜日）	担当課（室）	電話	担当者
11月19日(水)	徳島県立近代美術館	088-668-1088	上席学芸員(学芸交流担当) 竹内利夫 学芸員 飯田恵実

近代美術館 賐作事案における科学調査の結果について

徳島県立近代美術館が賐作であると公表した所蔵作品「自転車乗り」については、今後の真賐作事案の検証に資するために科学調査を実施しました。

この調査の概要については、次のとおりであり、本作が賐作であることを裏付ける結果となりました。

1 調査の概要

(1) 時期

令和7年7月から10月まで

(2) 調査機関等

東京文化財研究所の協力を得て調査を行い、近代美術館において考察し、報告をまとめた。

(3) 調査方法

使用材料や制作技法に関する客観的な情報を得るために、光学調査及び各種分析を実施した。

その主な手法は

- ①顕微鏡観察
- ②蛍光X線分析
- ③ハイパースペクトルイメージング
- ④ラマン分光分析

である。（別添「調査報告」参照）

2 調査の結果

- ①顕微鏡観察により、複層的な絵具構造や紙の張り込みを確認した。
- ②蛍光X線分析により、工業的合成顔料が検出された。
- ③ハイパースペクトルイメージングにより、絵具の種類や混色の傾向が可視化された。
- ④ラマン分光分析により、20世紀中期以降に実用化された合成顔料が確認された。

以上の分析結果から、作品の制作が比較的近年に行われた可能性が高いことが判明した。